

日本障害者乗馬協会機関紙

KSKP JRAD 通信

Japan Riding Association for the Disabled

もくじ

ごあいさつ・・・P1

第23回全国障がい者馬術大会報告・・・P2～3

CPEDI3 ドイツ 国際大会報告・・・P4

Rio2016 Paralympic Games NPC 視察報告・・・P5

お知らせ&編集後記・・・P6

No.67



ごあいさつ

一般社団法人障がい者乗馬協会 会長 渡辺 廣人

あけましておめでとうございます。

本年はリオオリンピック・パラリンピックの年となります。リオを目指す選手の皆さんは日々練習に励まれていることでしょう。日本の活躍が期待されます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックまで残り4年と迫ってまいりました。日本障がい者乗馬協会では2020年に向けて3名の実行委員が選出され、準備を進めています。昨年暮れには2名の選手がNHKで紹介され、また本年に入ってTOKYO MX テレビの私への取材など、盛り上がりを見せています。

24回目を迎える本年の全国障がい者馬術大会は、昨年に引き続き三木ホースランドパークにて開催される予定です。年々競技のレベルが上がるのを目の当たりにして頼もしい限りです。障害の別を超え、多くの選手の皆さんが競技を楽しむ姿と日頃の練習の成果を拝見できるのを楽しみにしています。皆様のご参加をお待ちしています。

関係者の皆様には、本年も障害者乗馬発展のため、更なるご協力、ご尽力をお願い申し上げます。





第23回全国障がい者馬術大会実績報告

第23回全国障がい者馬術大会の概要

| | | | |
|---------|--|-------------|-------------------------|
| 1, 大会日時 | 平成27年10月16日(金)午後1時30分から 平成27年10月18日(日)午後3時00分まで 懇親会 平成27年10月17日(土)午後7:00~9:00 | | |
| 2, 場所 | 三木ホースランドパーク (懇親会:三木ホースランドパーク内研修センター) | | |
| 3, 主催 | 一般社団法人 日本障害者乗馬協会 日本障害者乗馬協会 兵庫支部 (明石乗馬協会) | | |
| 4, 後援 | 公益財団法人日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会 公益社団法人 日本馬術連盟 公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会 公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団 兵庫県 財団法人 兵庫県障害者スポーツ協会 兵庫県社会福祉協議会 社団法人 兵庫県理学療法士会 一般社団法人 兵庫県作業療法士会 公益財団法人兵庫県馬術連盟 兵庫地区乗馬倶楽部振興会 兵庫県スポーツ少年団 三木市 公益財団法人 三木山人と馬とのふれあいの森協会 社団法人 三木市社会福祉協議会 明石市 明石市社会福祉協議会 社団法人 明石市医師会 明石乗馬協会スポーツ少年団 株式会社 神戸新聞社 | | |
| 5, 協力 | 三木ホースランドパーク JRA 日本中央競馬会 大塚製薬株式会社 株式会社伊藤園 エルランチョグランデ 柳学園高等学校乗馬セラピー部 エルランチョグランデライディングチーム 福山ホースクラブ MIKIホーストレック | | |
| 6, 参加者 | 大会参加者 | 183名 | (内障害者80名) |
| | 大会スタッフ・ボランティア | 83名 | (10/16~10/18、3日間の延べ人数) |
| | 無料体験乗馬&馬車 参加者 | 282名 | (10/17~10/18、2日間の延べ人数) |
| | 来賓 | 4名 | |
| | 海外招聘 | 3名 | 審判、スチュワード、クラシフィア イアー |
| | 日英通訳 | 3名 | |
| | その他一般見学者 | | |
| | 総数(一般見学者は含みません) | 558名 | |

| | | | |
|-----------------|------------------|------------|-------------------|
| 7, 競技者 | 馬場馬術ノービスグレードIa | 1名 | |
| | 馬場馬術ノービスグレードIb | 2名 | (内知的障害者2名) |
| | 馬場馬術ノービス グレードIII | 7名 | |
| | 馬場馬術ノービス グレードIV | 1名 | |
| | 馬場馬術規定演技グレードIa | 1名 | |
| | 馬場馬術規定演技グレードIb | 1名 | |
| | 馬場馬術 規定演技グレードIII | 2名 | |
| | 馬場馬術 規定演技グレードIV | 2名 | (内知的障害者1名) |
| | チームテスト グレードIa | 2名 | |
| | チームテスト グレードIII | 5名 | |
| | チームテスト グレードIV | 2名 | (内知的障害者1名) |
| | スペシャル競技A 常歩 | 26名 | (内知的障害者20名) |
| | スペシャル競技B 速歩 | 10名 | (内知的障害者9名) |
| | スペシャル競技C 駈歩 | 1名 | (内知的障害者1名) |
| | ジムカーナ競技 常歩 | 40名 | (内知的障害者35名) |
| | ジムカーナ競技 速歩 | 9名 | (内知的障害者1名 内健常者1名) |
| | ジムカーナ競技 駈歩 | 5名 | (内知的障害者2名 内健常者3名) |
| トレッキング | 12名 | | |
| エントリー総合計 | 129 | | |
| 8, 使用馬匹頭数 | 明石乗馬協会 | 3頭 | |
| | エルランチョ グランデ | 7頭 | |
| | 自馬参加団体 | 2頭 | 東京障害者乗馬協会 |
| | | 1頭 | かなぎライディングパーク |
| | | 2頭 | 福山ホースクラブ |
| | | 1頭 | SO兵庫三木プログラム |
| | | 1頭 | 公益財団法人ハーモニイセンター |
| | | 1頭 | エンゼル乗馬クラブ |
| | | 1頭 | ホースフレンドファーム |
| | | 2頭 | クローバー牧場 |
| | | 1頭 | コルザホースクラブ |
| | 使用頭数合計 | 22頭 | |

第23回全国障がい者馬術大会の様子



↑開会式は好天の下で行われた。



↑秋晴れに恵まれ、絶好の乗馬日和



↑閉会式も終始和やかに進んだ。



CPEDI3* ū berherrn 2015 競技会報告

大会期間 2015年7月2日～7月5日

大会会場 Ūberherrn Linslerhof
(ドイツ/ユーバーヘルン)

参加選手 G1b 宮路 満英
(水口乗馬クラブ/リファインエイリアターミー)

出場馬 【Oky van ter Hilst】

サポートスタッフ 小出 謙介 (JRAD 事務局)
Miranka Schellekens

目指せ！リオパラ



Special Thanks Yuki Reiter 二口淳子 石塚壮太郎

「灼熱の国際大会」

日本障がい者乗馬協会事務局 小出 謙介

日本から飛行機に乗る事 10 時間以上、ドイツ南部にある都市ユーバーヘルンで行われる国際競技に出場する宮路満英選手のサポートとして参加してまいりました。宮路選手は、2016 年にブラジル/リオデジャネイロで開催されるパラリンピックへの出場枠獲得に向け6月上旬からヨーロッパに渡り、貸与馬である「OKY」とコンビを組み、フランスの大会に出場、その後今大会に出場する事となった。今回宮路選手とコンビを組むことになった「Oky」は、ベルギー産中間種で17才、競技経験も豊富で物怖じせず優雅な歩様を持つ実に堂々とした頼りがいのあるスーパーホースであった。

現在ドイツは夏、しかし日本の夏と違い湿度は低く、日中でも最高気温 30 度前後までと聞いていたが、今回はこの大会に合わせてように異常な暑さとなり、日中は 40 度まで気温が上昇する日が大会最終日まで続く事となった。私自身、障害者乗馬の国際競技のサポートは初めてで、しかも馬術大国ドイツ、日本を出る前からレベルの高さは予測していた。だが競技前日の練習が始まってみると自分の予測を遥かに超えたレベルの高さに圧倒されてしまった。しかし宮路選手は、前回のフランス大会で慣れたのか、周囲に影響される事無く、実に落ち着いていた。競技は3日間、1日目のチームテスト、2日目規程演技、3日目フリースタイル。宮路選手はフランス大会で、パラへの出場資格はクオリファイしているが、まだアジア地域での個人ランキングが低い為、チームテストと規程演技の両方で 60%以上の結果を出し個人ランキングのポイントを少しでも上げる事が必要だった。前回のフランス大会の直前に、グレードの変更を言い渡され、経路をまだ把握出来ていない宮路選手は空き時間を見つけては、



自分の足で経路を回る練習をして、いよいよ初日のチームテストを迎えた。コーチ、サポーターが見守る中、一つ一つ確実に演技をこなし、63%を記録しポイントを獲得、しかし順位としては12人中9位、内容は決して悪くなかったが他の選手達と比べると前進氣勢の無さが目立ってしまった。ここは国際大会、リスクを承知で果敢に攻めて馬を動かす演技をしなければ入賞は不可能だという事を痛感させられた。2日目は規定演技、前日の反省を踏まえ、コーチの Miranka が準備馬場で下乗りし、馬に前進氣勢をしっかり持たせて演技に臨んだ。競技場内に入っても人馬のリズムは軽快で、宮路選手も「Oky」の持ち味を引き出せていた。結果は66%を記録、2日続けてポイントを獲得出来たことはリオパラに向けて大きな弾みになった。もちろん他の人馬も調子を上げてきており、宮路選手は12人中8位に留まった。翌日のフリースタイルは総合上位7位までしか出場できない為、日本チーム全員諦めかけていたが、上位の選手が2頭乗りしていたので1頭分枠が空き宮路選手が繰り上げ出場出来る事となった！演技の後半で選手の疲労が見え徐々に失速、結果64%を獲得したが7人中7位となった。それでも3日間通してこのドイツにおいてコンスタントに60%以上をマーク出来たのは宮路選手の弛まぬ努力と、コーチの Miranka と良馬「Oky」との出会い、そして何よりも宮路選手の奥様である裕美子さんの縁の下の支えに尽きるであろう。この素晴らしい人々との出会いに感謝しながら、ドイツを後にし帰国の途に着きました。今回、初めて国際大会に参加し強く思ったのは、ヨーロッパ選手全員、「ハミ受け」「内方姿勢」等の馬術感覚を体得している。経路を戦略的に回り、いかに得点を得るかを熟知しているという事です。残念ながら、現在この感覚を持ち合わせている日本選手はいないのではないだろうか？その状況を克服する鍵は、良いトレーナーと良い馬に巡り合う事だと思う。アジアの強国シンガポールは実践している。益々日本との差は開くばかりだ。2020年までに、宮路選手のように様々な代償を払ってでも世界で戦おうとする選手が今後も出てくることを願ってやまない。



Rio 2016 Paralympic Games NPC visit 報告

日程：2015年11月24日～11月30日 場所：ブラジル（リオデジャネイロ）

主催：日本パラリンピック委員会 報告者：一般社団法人日本障がい者乗馬協会事務局 小出謙介

日本パラリンピック委員会主催のリオパラリンピック会場視察に日本障害者乗馬協会を代表して参加しました。日本から飛行機を乗り継ぎ20時間以上かけてブラジル南東部にある都市リオデジャネイロに到着。リオデジャネイロは日本のちょうど真裏にあたるので気候的には日本と反対、到着した時点で気温は30度、湿度もかなり高く時差に悩まされている体にはかなりの疲労を感じました。大会に参加する選手も、パラ本番では時差と気候の変化に悩まされる事が予想されます。馬術競技においては、選手本人だけの問題ではなく、ヨーロッパから輸送される馬匹にも大きな影響を与える可能性を感じました。

到着後、宿舎とオリンピック会場のあるBAAR（バーハ）地区へ移動、アメリカ経由の視察団と合流、日本大使館の職員から現在のリオデジャネイロの治安や犯罪の発生率、それに伴う注意点などの説明を受けました。翌日は競技会場の視察、宿舎からバスに乗り、バーハ地区の市街地に出るとすぐ目に飛び込んでくるのは、丘の上に密集するレンガ造りの住宅街「ファベラ」、現地の言葉で「貧民窟」を意味します。この「ファベラ」がリオ市内だけでも1,000ヶ所あると言われ、場所によっては幹線道路のすぐ隣にファベラが隣接している所もあり、いたるところに銃を構えた警官が立っていました。日本でもほとんどの人が南米に対して、治安が悪い印象をもっていると思いますが、現地に来てみると想像以上に治安の悪さを実感しました。パラ本番では、選手や関係者は選手村に宿泊する事になりますが、選手村から競技場までの移動にはスリや強盗などには十分気をつけたいところです。選手村を視察し、大会組織委員会のヤン氏から説明を受けました。現時点で8割～9割完成しているとの事でしたが、実際に見て回ると6割～7割の完成度という印象で、日本チームが入る予定の宿舎もまだ着工しておらず、各種目の競技場も大部分が工事中という状況でした。

午後からは馬術競技場のある「デオドーロ地区」に移動し、視察を行いました。馬術競技場は、ブラジル空軍の施設内に新設され、とても近代的な設備でした。他の競技場よりも完成度が高く、常設の大きな観客席や立派な審判棟も完備、丸馬場を含む練習馬場も3面あり競技馬場は縦110m、横80m国際競技を開催するには十分な大きさでした。許可を得て馬場にも入りましたが、馬場砂にはスイス「OTTO社」のフェルトサンドを利用し、かなり費用がかけられていました。完成してからすでにリハーサルを兼ねて大会を開催しているようで、担当者はかなり自信を持っていました。残る問題は、選手村から競技場までバスで1時間以上かかる事、この問題については開催期間中「BRT」と呼ばれる高速バスを関係者用に運行するとの事です。これがうまく機能するなら移動時間は30分くらいに短縮されると思います。翌日は、直接組織委員会のオフィスを訪問、オリ・パラ統括の馬術競技担当者とは直接話が出来ました。ヨーロッパからの馬匹輸送に関しては、ベルギーのリエージュ空港からチャーター便を用意し馬匹の検疫は特に実施しない、との説明を受けました。

翌日は、午前中にリオデジャネイロ市内の観光をして帰国しました。今回は、オリ・パラ会場の視察という貴重な経験だけでなく、同行した他の競技団体の人たちとも話す時間があり、お互いに色々と情報交換の情報、共有が出来た事は今後2020年にむけて競技団体間の繋がりを作る絶好の機会になりました。今後も障害者乗馬発展の為、密に連携を取って行こうと思います。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。この度の経験を、2020年の東京パラリンピックに活かしたいと思います。



↑今回のオリンピックメインスタジアム



↑リオパラで使用される馬術競技場



JRAD行事予定

| | | |
|---------|----------------|--|
| 平成 28 年 | 1 月 20～23 日 | オランダ大会 (Genemuiden CPED3*) 1 名出場 |
| | 2 月 27～28 日 | 第 11 回治療的乗馬研究集会 (共催) |
| | 3 月 2 日 | 日本障がい者スポーツ協会加盟団体会議 |
| | 3 月 24～26 日 | Japan Open 2015 Final パラ馬場馬術競技会 In つま恋乗馬倶楽部 |
| | 4 月 20 日 | 一般社団法人日本障がい者乗馬協会理事会・総会 東京 |
| | 4 月下旬 | JRAD通信 No、68 発行 |
| | 5 月 8 日 | COLZACUP 2016 In コルザホースクラブ |
| | 9 月 7～18 日 | リオデジャネイロパラリンピック 1 名出場予定 |
| | 10 月 28 日～30 日 | 第 24 回全国障がい者馬術大会 In 三木ホースランドパーク |



お知らせ

募 集

◆毎週土、日曜日に障害者乗馬のレッスンをお手伝いしていただけるボランティアの方を募集しています。詳しくは電話にてお気軽にお問い合わせください。

湯の山乗馬クラブ (三重県) TEL 0593-94-3370 担当: 松本

◆当協会では会報会員、賛助会員を募集しています! 当協会の活動に賛同していただける方の協力をお待ちしています。

会報会員年間¥400- 賛助会員年間 1口 ¥3000-

※年間 4 回発行される JRAD 通信を送付いたします。

お申込み方法は下記、日本障害者乗馬協会事務局までお問い合わせください。



編集後記

新しい年が始まりました。今年は 4 年に一度のオリンピック、パラリンピックイヤーですね! 当協会からも 1 名の選手が、リオデジャネイロパラリンピック出場目指し奮闘中です! 日本代表として、是が非でも出場して頂きたい協会も応援しています! 国内では、2020 年東京パラを目指した動きが少しずつ活発化し始めています。今年も 3 月に静岡、5 月に千葉、そして 10 月には三木での全国大会等パラ馬術競技の開催が予定されています。競技会と聞くと、なんだか敷居が高い気もしますがそんな事はありません! 競技会は日頃の練習の成果を確認出来る数少ない機会なのです。そして競技会を目標にすれば日頃の練習も違った角度から取り組めるのではないのでしょうか? まずは楽しんで参加する事が大切なので、一人でも多くの参加を期待します。発行が遅れてしまい大変申し訳ありませんが、JRAD 通信 67 号をお届けいたします。(小出)

☆..... ☆

発行人 関西障害者定期刊行物協会 〒543-0015
大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階

編集 一般社団法人 日本障害者乗馬協会
〒674-0053 明石市大久保町松陰 1126 明石乗馬協会内
TEL078-935-8900 FAX078-935-8950

編集責任者 三木 則夫

編集者 小出 謙介

定価 100 円 (税込み)

URL <http://www.jrad.jp>

♪..... ♪